

十勝地域の概要



北海道農政事務所
帯広地域拠点

第1 地域の概況

- ◇位置：北海道の中心よりやや南東部に位置し、北に大雪山系と西に日高山脈、南と東が太平洋に面し、北海道随一の農業地帯として知られる十勝平野が広がる。
- ◇気候：太平洋岸を除き、大陸性気候であることが特徴で、夏は、海岸部では海霧が立ちこめ日中の気温があまり上がらないが、内陸部は比較的高温が続く。冬は、大陸性寒冷高気圧により低温が続くが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく、晴天の日が続く地域となっている。
- ◇空の玄関「とちかち帯広空港」をはじめ、充実した道路網、太平洋岸の広尾町に物流基地として整備された十勝港があることなどから、北海道東部の社会・経済・文化の中心として重要な役割を果たしている。また、十勝という地名は、域内を流れる十勝川をさすアイヌ語「トカプチ」に由来する。



◇てんさいの生産量は、道内（全国）全体の4割超。砂糖の原料となる。



てんさいの収穫 後ろは日高山脈

◇ばれいしょの生産量は、道内全体の4割超。用途は、生食用、ポテトチップ用などの加工用、でん粉原料用に区分される。



コンテナに積み込まれたメークイン

◇乳用牛の飼養頭数は、全国の18%。



日本一広いナイタイ高原牧場(上士幌町)

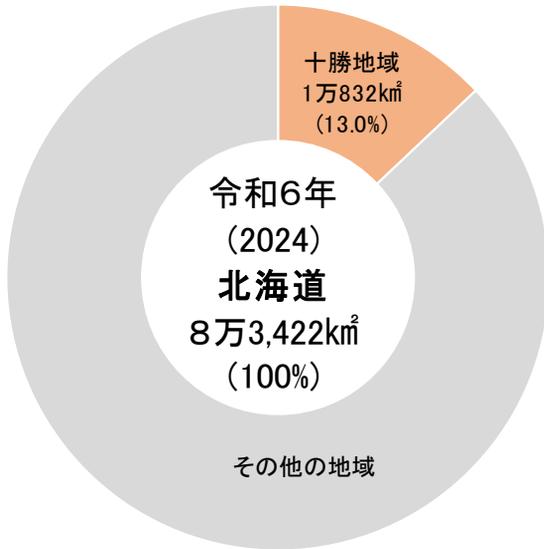
19市町村（1市16町2村）



第1 地域の概況(つづき)

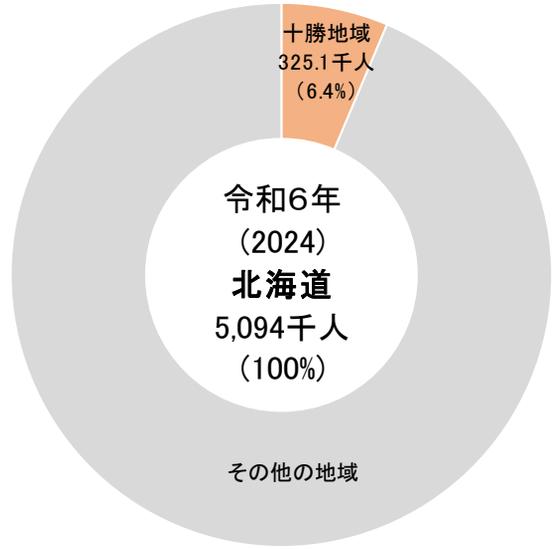
- ◇総土地面積は1万832km²で、北海道の13%を占め、秋田県や岐阜県とほぼ同じ。
- ◇総人口は32万5千人で、北海道の6.4%を占め、そのうち帯広市、音更町、幕別町、芽室町の周辺4市町で24万9千人となっており76.6%を占めている。

総土地面積



資料:国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(令和6年4月1日時点)」
注:四捨五入のため、計と内訳が一致しない場合がある。(以下同じ。)

人口割合



資料:総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和6年1月1日現在)」

第2 農業の概要

- ◇肥沃で広大な耕地に、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類(大豆、小豆、いんげん)の畑作4品による輪作やながいも、えだまめなどの野菜を大型機械で栽培する日本有数の畑作地帯である。
- ◇乳用牛・肉用牛の飼養頭数は全道一を誇っており、日本の食料基地として重要な役割を担っている。
- ◇野菜は、ながいもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されている。主要品目であるながいもを筆頭に、えだまめ、ゆり根などが海外へ輸出されている。



小麦の収穫作業



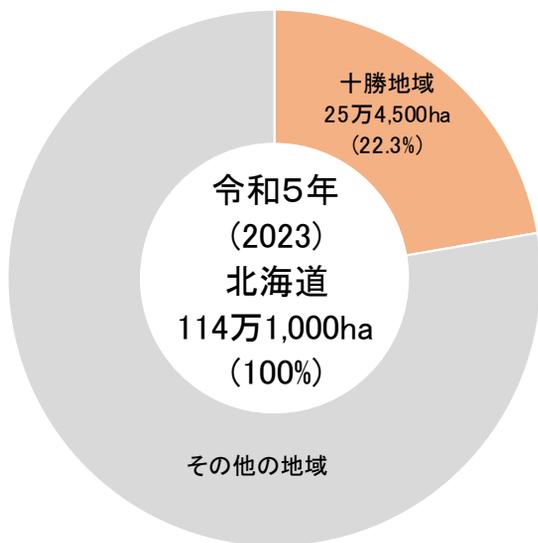
冷凍加工用えだまめの収穫作業

1 農業構造の状況

耕地面積

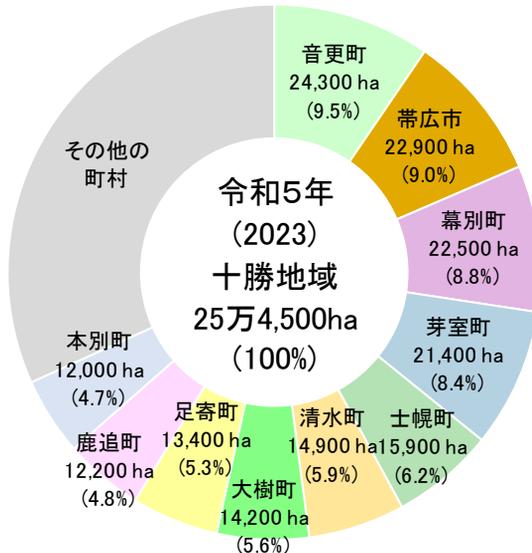
- 耕地面積は25万4,500haで、北海道の22.3%を占めている。
- 市町村別の耕地面積は、大きい順で、音更町、帯広市、幕別町の順となっている。音更町は道内市町村の中で4番目に大きい。
- 主要農作物の作付面積割合は、小麦43.5%、てんさい22.0%、ばれいしょ21.6%、大豆11.9%の順となっている。

耕地面積の割合



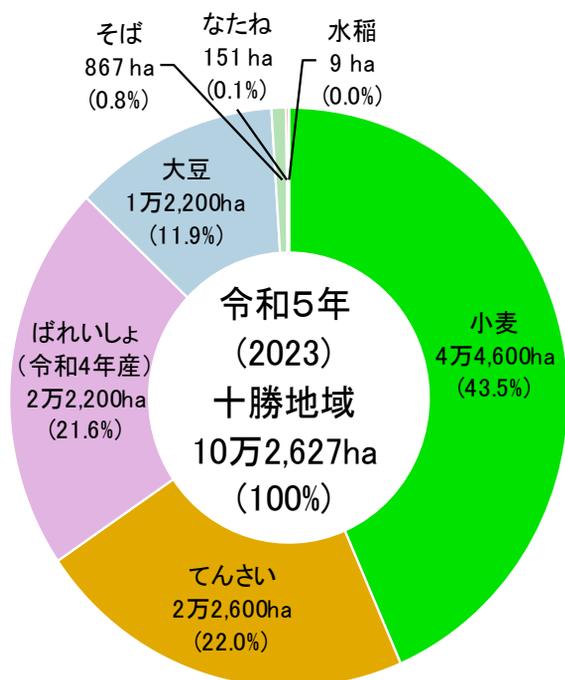
資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の耕地面積割合



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

主要農作物の作付面積割合



資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

注：ばれいしょは、令和4年産の値である。



オフセットポテトハーベスターでの収穫作業

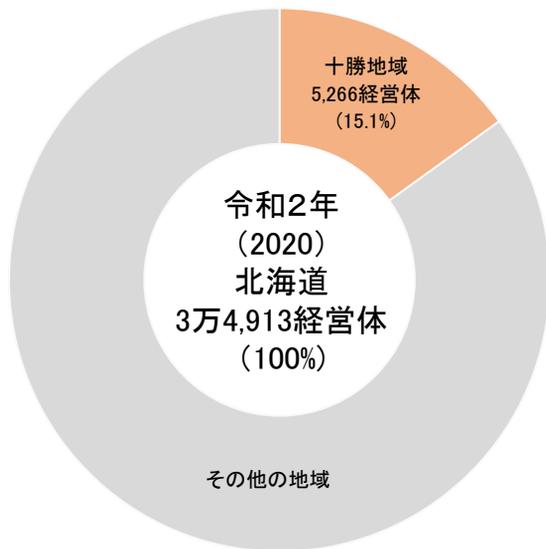


小豆の収穫作業

農業経営体

- ・農業経営体数は5,266経営体で、北海道の15.1%を占めている。
- ・農業経営体数は、2010年（6,301経営体）から10年間で1,035経営体（16.4%）減少。一方、団体経営体数（非法人688経営体及び法人67経営体）は、233経営体（44.6%）増加している。
- ・農産物販売額金額1位の部門別経営体数の割合は、雑穀・いも類・豆類（36.2%）、酪農（22.2%）、麦類作（12.6%）の順となっている。
- ・個人経営体における年齢別農業従事者数は、59歳以下が54.8%となっている。

農業経営体数の割合



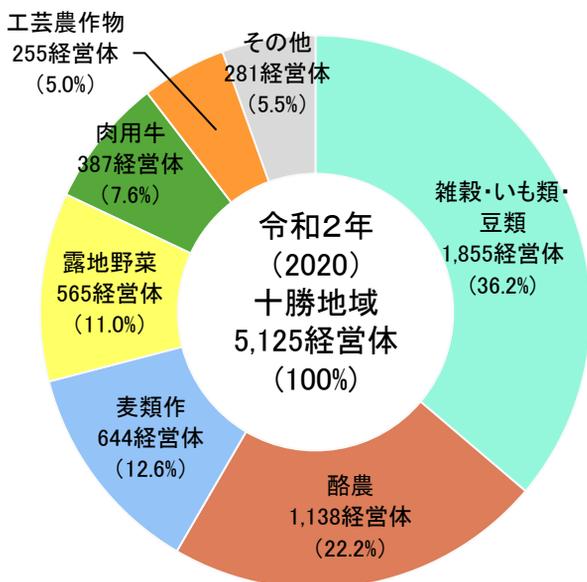
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業経営体数の推移



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農産物販売額1位の部門別経営体数割合

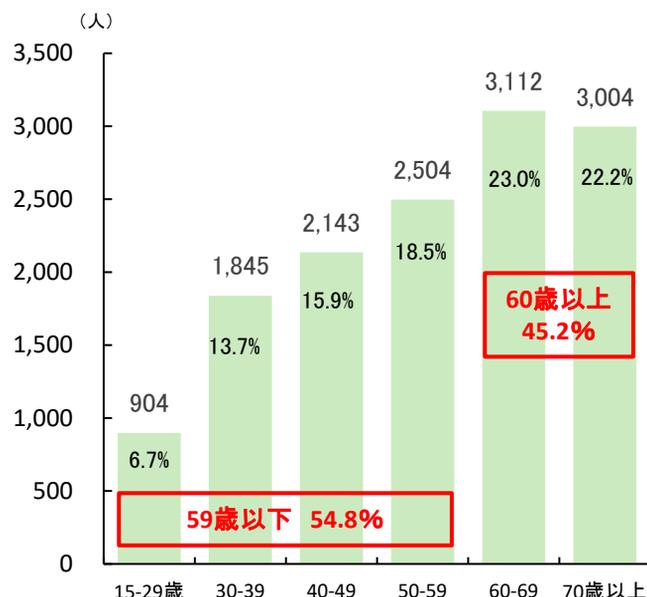


資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

注：その他は、稲作、施設野菜、果樹類、花き・花木、その他の作物、養豚、養鶏、その他の畜産の合計値である

年齢別農業従事者数(個人経営体)

* 令和2(2020)年 農業従事者数 計13,512人



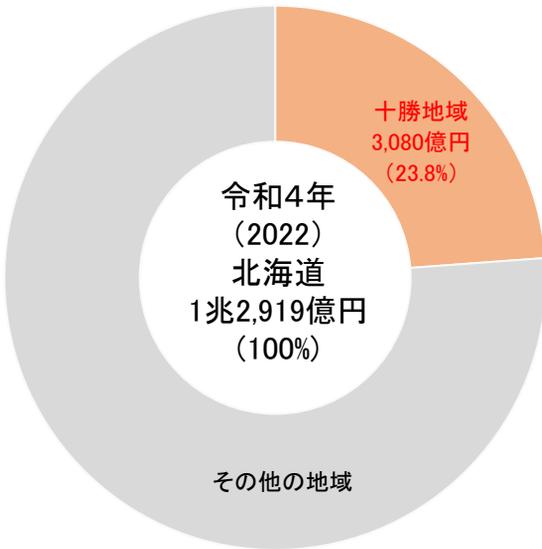
資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

農業産出額

- 農業産出額は3,080億円で、北海道の23.8%を占めている。
- 品目別農業産出額では、乳用牛と肉用牛で約6割を占めている。
- 農業産出額の多い市町村は、清水町（道内3位）、士幌町（同5位）、幕別町（同6位）、帯広市（同7位）、芽室町（同10位）、音更町（同11位）の順となっている。

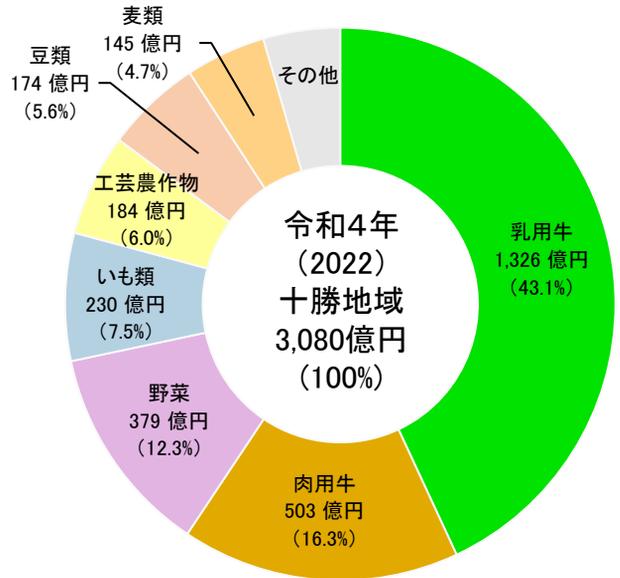
※「市町村別農業産出額(推計)」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分したものである。

農業産出額の割合



資料:農林水産省「生産農業所得統計」「市町村別農業産出額(推計)」

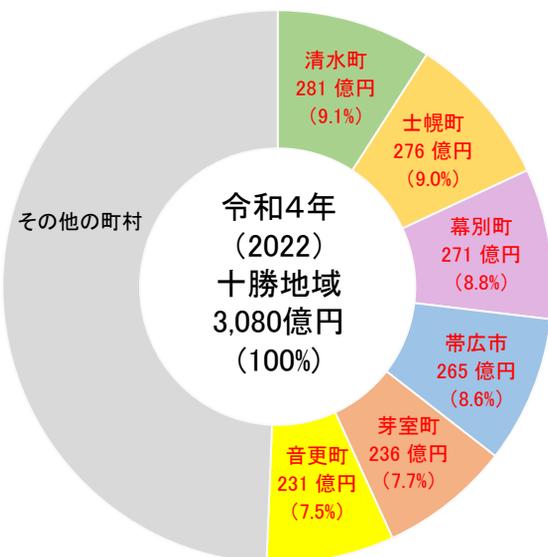
品目別農業産出額の割合



資料:農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

注:その他には、米、雑穀、果実、花き、その他作物、豚、鶏、その他畜産物が含まれている。

市町村別の農業産出額割合



資料:農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」



デントコーンの収穫作業



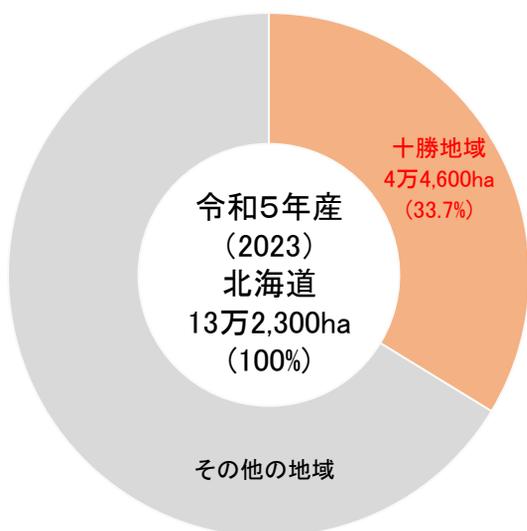
長いもの生育の様子

2 主要農畜産物の生産等の状況

小麦

- 令和5年産の作付面積は、秋まき、春まき合わせて4万4,600haで、北海道の33.7%を占めている。
- 作付面積の多い市町村は、音更町（道内1位）、帯広市（同2位）、芽室町（同2位）の順となっている。
- 収穫量は29万3,700 tで、北海道の41.0%を占めている。
- 秋まき小麦の作付面積は4万3,500haで、前年産に比べて700ha増加し、10a当たり収量は168kg上昇したことから、収穫量は28万8,900 tで7万6,500 t増加した。

作付面積の割合



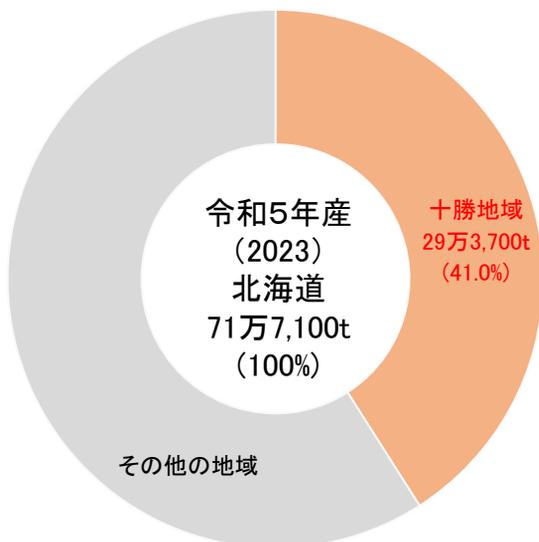
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



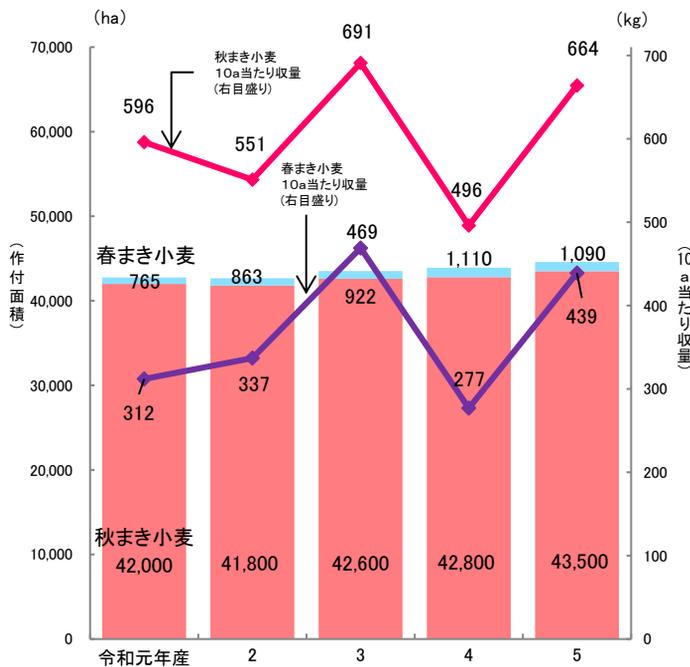
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

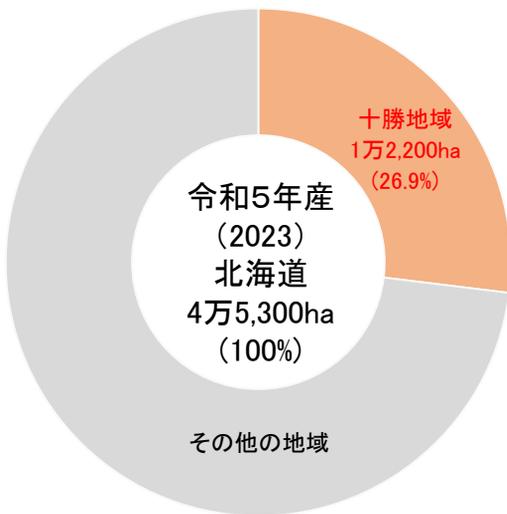


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

大豆

- 令和5年産の作付面積は1万2,200haで、北海道の26.9%を占めている。
- 市町村別の作付面積は、大きい順で、音更町（道内1位）、帯広市（同5位）、芽室町（同7位）となっている。
- 収穫量は3万6,400 tで、北海道の31.5%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて900ha増加し、10a当たり収量が37kg上昇したことから、収穫量は6,800 t増加した。

作付面積の割合



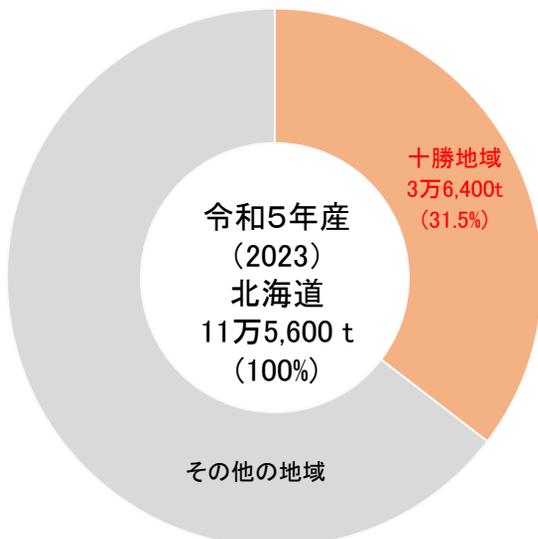
資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



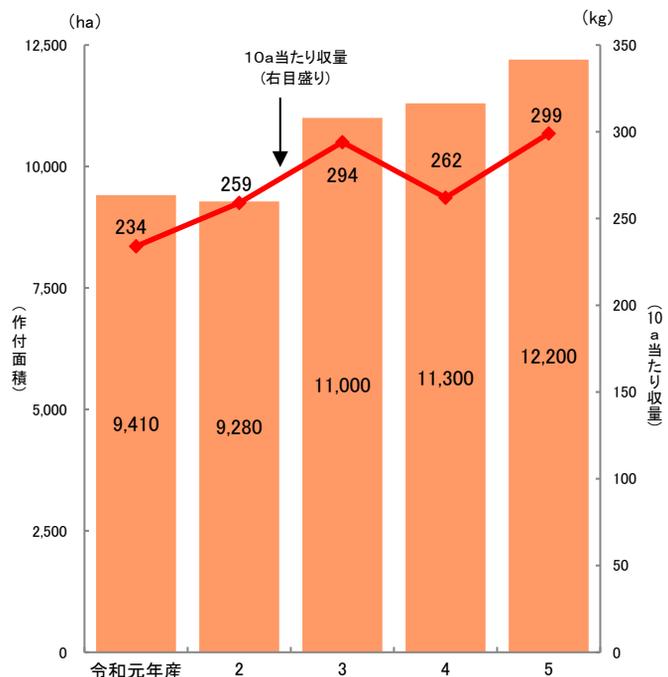
資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料: 農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

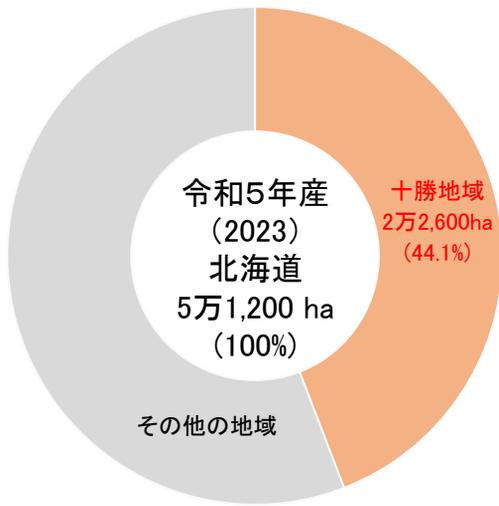


資料: 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

てんさい

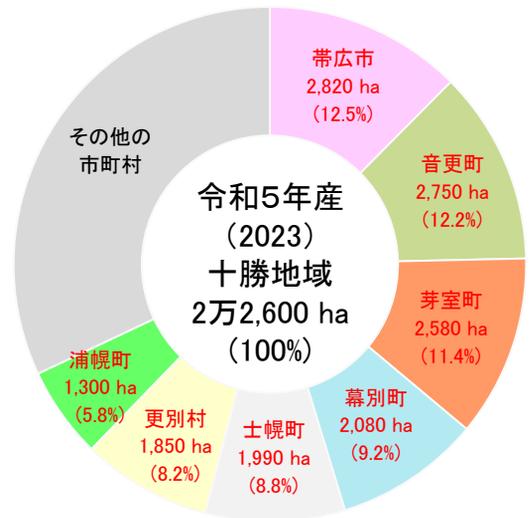
- 令和5年産の作付面積は2万2,600haで、北海道の44.1%を占めている。
- 十勝地域管内における市町村別の作付面積は、帯広市（道内3位）、音更町（同4位）、芽室町（同6位）の順となっている。
- 収穫量は153万5,000 t で、北海道の45.1%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて1,800ha減少したが、10a当たり収量は930kg上昇したことから、収穫量は10万7,000 t 増加した。

作付面積の割合



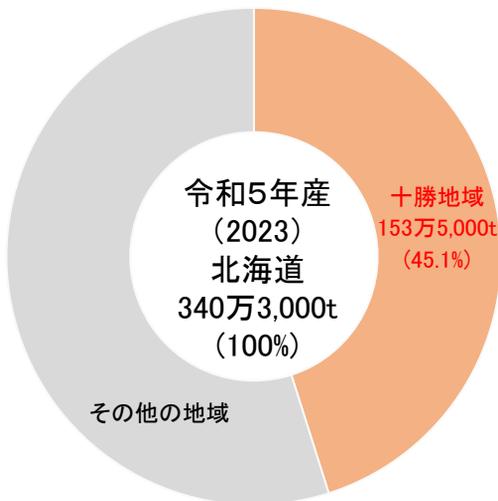
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



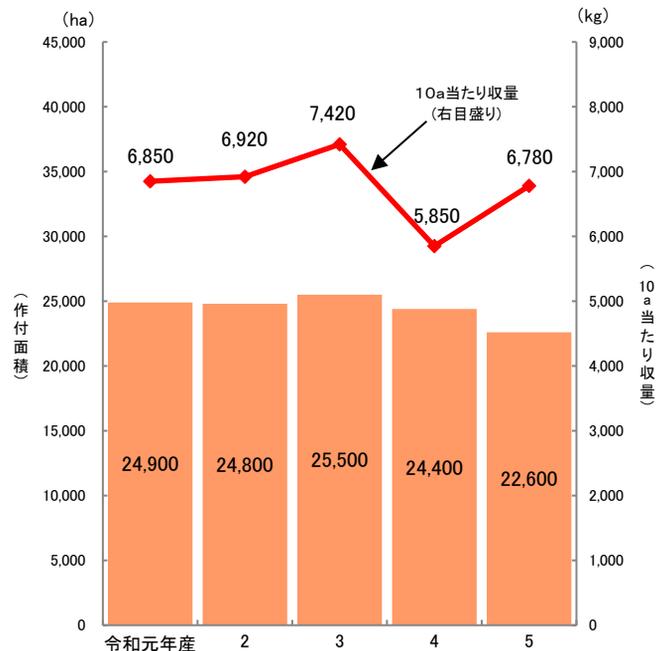
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移

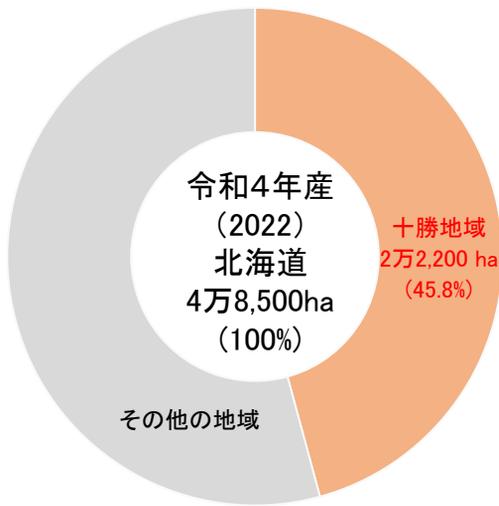


資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

ばれいしょ

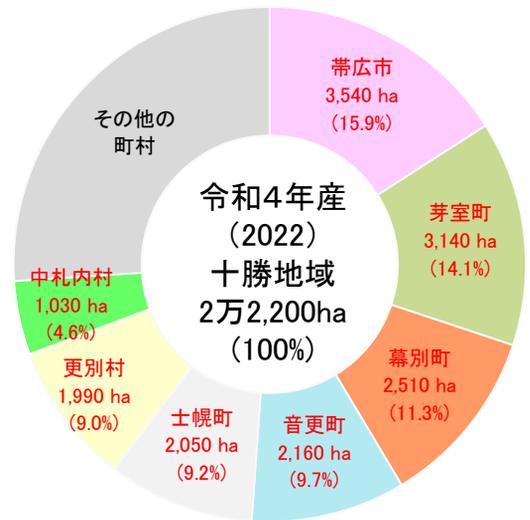
- 令和4年産の作付面積は2万2,200haで、北海道の45.8%を占めている。
- 作付面積の多い市町村は、帯広市（道内1位）、芽室町（同2位）、幕別町（同4位）の順となっている。
- 収穫量は77万1,600 tで、北海道の42.4%を占めている。
- 作付面積は前年産に比べて700ha増加したものの、10a当たり収量が160kg低下したことから、収穫量は9,300 t 減少した。

作付面積の割合



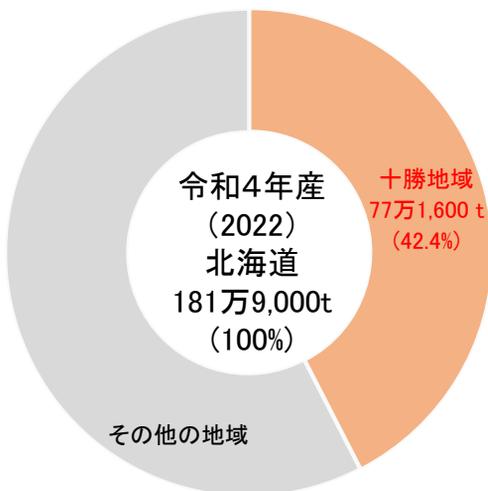
資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

市町村別の作付面積割合



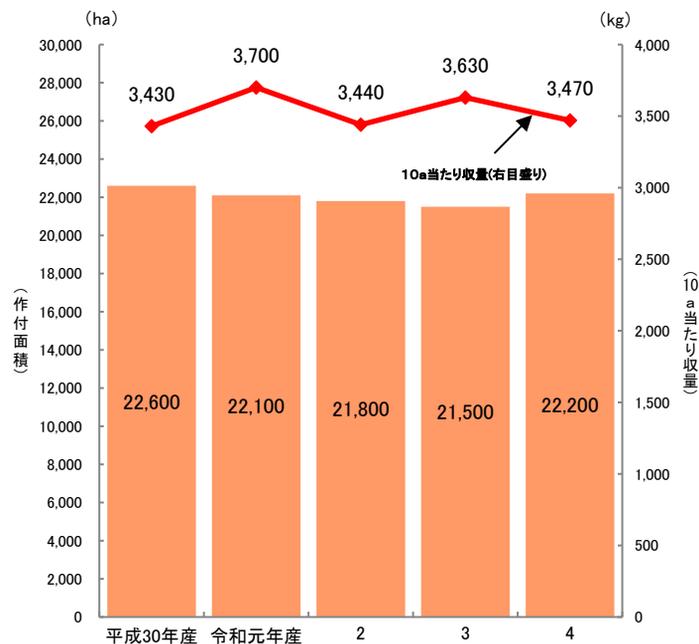
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

収穫量の割合



資料：農林水産省統計部「作物統計」、「農林水産関係市町村別統計」

作付面積・10a当たり収量の推移



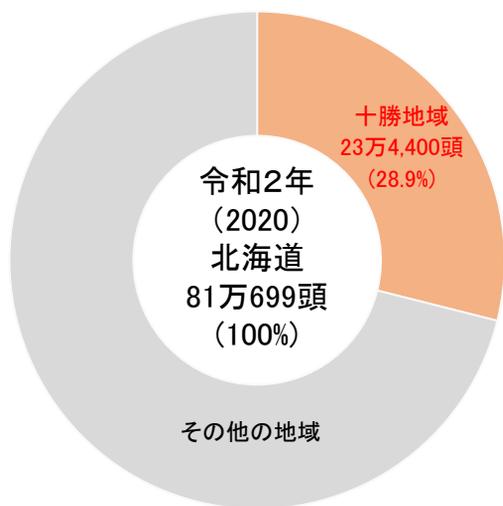
資料：農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計」

乳用牛

- 令和2年2月1日現在の飼養頭数は23万4,400頭で、北海道の28.9%を占めている。
- 市町村別の飼養頭数は、清水町、大樹町、上士幌町、鹿追町、士幌町の順となっている。
- 牧草専用地の面積は6万7,057haで、北海道の16.1%を占めている。
- 1経営体当たり飼養頭数※の推移は、112.3頭（2005年センサス）、145.1頭（2010年センサス）160.8頭（2015年センサス）、195.3頭（2020年センサス）で、年々飼養規模の拡大が進んでいる。

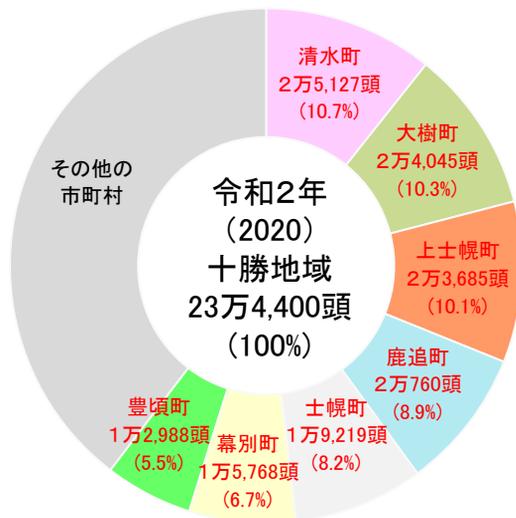
※1経営体当たり飼養頭数は、農林業センサスの乳用牛飼養経営体数と飼養頭数により算出している。

飼養頭数の割合



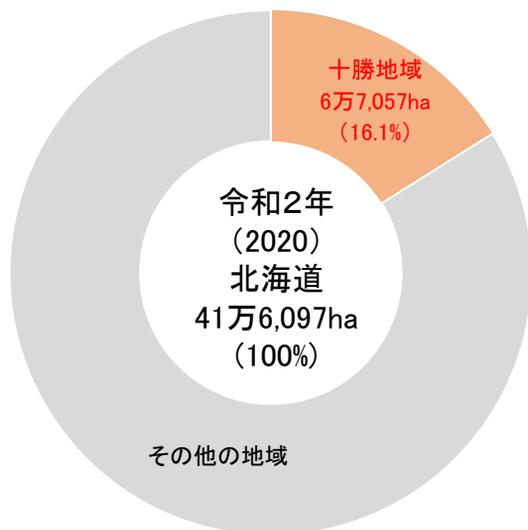
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

市町村別の飼養頭数割合



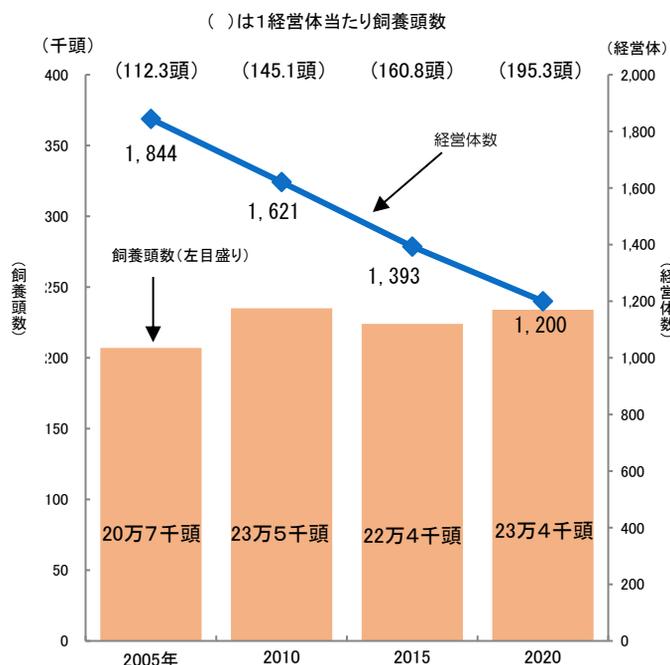
資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

牧草専用地の割合



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

飼養頭数・飼養経営体数の推移



資料:農林水産省統計部「農林業センサス」

第3 地域の取組事例

1 スマート農業

管内全域

最新技術の積極的な導入で生産者の負担を軽減

十勝管内では、経営規模拡大を進めるに当たり課題となる労働力不足の解消や作業効率の向上を図ること等により生産者の負担を軽減させるため、「自動操舵装置付きトラクター」や「自動収穫機」、「搾乳ロボット」等のAI、IoTやロボット等の情報通信技術を活用したスマート農業技術の活用が普及しています。

また、生産者とJA等の関係機関、研究機関や民間企業の技術者が一体となって生産現場のニーズに応える技術開発、活用に向けた動きが活発に行われています。



【最大40頭まで全自動で搾乳可能な搾乳ロボット】
(中札内村 有限会社中島生産組合)



【ロボットトラクターとの協調作業】
(音更町 株式会社三浦農場)



【自動収穫機によるキャベツの収穫】
(JA鹿追町)

2 バイオマス産業都市

管内全域

カーボンニュートラルの実現に向けて、
「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた取組

十勝管内全19市町村は、「バイオマス産業都市」(平成25年)に選定され、管内に52基のバイオガスプラントが建設されています(令和5年度「十勝バイオマス産業都市構想 期中評価報告書」より)。

鹿追町では、ゼロカーボンの町づくりとして、令和4年5月に「しかおい水素ファーム」が稼働を始め、バイオガスから水素を製造する日本初の取組が行われています。



【バイオ液肥散布車】



【鹿追町公用車:水素燃料電池車】



【バイオガスプラント全景】

3 農福連携

鹿追町

北海道初、地元産野菜「shika vege（シカベジ）鹿追町」で「ノウフクJAS」を取得



【ノウフクJASとshika vegeのシールが貼られた出荷前の商品】



【利用者による農作業の様子】

鹿追町では、町が管理している水耕栽培ハウス（バイオガスプラントで生成された余剰熱を活用し通年栽培）を令和5年度から障がい者の働く場所として提供。障がい者が携わった商品が地域に認知されることで、「障がいがあっても地域で働きながら暮らせる環境作り、障がい者自身の働きがいや働きやすさ、障がい者が地域で暮らしていることの理解が深まる」との考えのもと、ブランド化を進めている地元産野菜『shika vege（シカベジ）』に、障がい者の雇用創出の場を加え、令和6年3月「shika vege（シカベジ）鹿追町」として「ノウフクJAS」認証を取得しました。

農作業は、「NPO法人地域共同作業所もみじ工房」の就労継続支援B型事業所の利用者が従事し、作物のは種から収穫まですべての工程に携わり、ミニトマトや葉物野菜など10種類以上を栽培し、収穫した作物の包装に「ノウフクJAS」と「shika vege」のシールを貼り、十勝管内の道の駅やスーパーで販売されています。

4 地理的表示(GI)保護制度

管内全域

十勝地域の生乳で作るプレスタイプのセミハード・ナチュラルチーズ「十勝ラクレット」



「十勝ラクレット」は令和5年3月にGI登録され、十勝地域では「十勝川西長いも」に続いての登録となりました。

「十勝ラクレット」は、十勝地域で生産された新鮮な生乳を原料とするプレスタイプのセミハード・ナチュラルチーズで、ナッツや干し草のような熟れた芳醇な香りとさわやかなミルクの香りが感じられ、刺激臭が少なく日本人の嗜好に合うさっぱりとした食味として需要者から高く評価されています。

十勝地域は、冷涼な気候で降雪が少ないことから、古くから豆類やばれいしょ等の栽培が盛んで、良質な飼料作物も得られることから、広大な農地を活かした酪農経営が地域に根付き、現在では乳用牛飼養戸数・飼養頭数、受託乳量ともに全国一の地域となりました。

また、冷蔵設備の普及していない時代から乳製品の加工に取り組んでおり、チーズ工房が連携して切磋琢磨しながら地域独自のチーズが生産され、定着しました。

「十勝ラクレット」を安定して販売する工房は、令和6年現在13か所であり、生産行程を遵守しつつ、各工房での独自の技術によって「十勝ラクレット」が提供されています。

5 有機農業・六次産業化

幕別町

心も体も元気になるおいしい野菜を届けたい
- 小笠原農園 -

【小笠原御夫妻】



【カフェのランチメニュー】

◎ 有機農業

小笠原保氏は、長年勤めた役場を退職し、奥さんとともに平成24年に就農しました。

その後、当初からの目標である「心も体も元気になるおいしい野菜を生産したい」という思いから有機栽培を目指し、収量が安定しないなどの苦労がありましたが、土作り、病害発生の早期予見などの経験を積み、豆類においては慣行栽培並みの収量を確保しています。

自ら生産した農産物は、飛び込み営業で独自の販路を開拓し、契約出荷により安定した収入を確保することができています。

また、令和3年12月、十勝総合振興局において設立された「とちかちオーガニック振興会」に参画し、有機農業に関する情報交換や仲間作りを積極的に行っており、地場農産物についての理解等を深めてもらうため、学校給食の「月イチオーガニック給食運動」といった出口対策の実現を目指しています。

◎ 六次産業化

令和2年、「野菜をもりもり食べたい」という願いを叶えてくれるカフェ「菜びより」を開業（令和5年4月「灯里（ひより）」としてリニューアル）し、旬の有機野菜等を用いた料理を自由に取り分けて食べる「おばんざい」スタイルで提供しています。

また、カフェは完全予約制で、アレルギーやヴィーガンにも対応しており、提供している野菜は併設する農産物直売所で販売しています。

6 六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業

音更町

生産から醸造まで一貫した十勝初のオーガニックワイン
醸造・直売
- 十勝ぶどう園株式会社 -

【ぶどう栽培ほ場】



【オーガニック栽培のぶどう】

十勝ぶどう園株式会社は、令和元年に農地所有適格法人として設立しました。

代表取締役の中村利雄氏は、地元の金融機関に勤めていた中で、「とちかち酒文化再現プロジェクト」を立ち上げ、十勝初の純米酒「十勝晴れ」の商品化に取り組み、原料の生産からの物作りが地域に与える影響を実感し、地域で生産される原料でワイナリーを立ち上げることを目標に、令和2年度から有機JAS認証を受けた「ぶどう」の栽培を開始しました。

有機栽培ぶどうは、慣行栽培に比べ収量が低いため、所得向上を図るためには付加価値を高めた販売が不可欠であることから、オーガニックワインに着目し、十勝初のオーガニックワインの醸造・販売を目指しています。

また、十勝管内には有機JASの認証を受けている醸造所がないため、有機認証を受けた施設整備を行い、将来的には、HACCPの第三者認証を取得することも考えています。オーガニックワインを通じた新たな観光客の誘致により、音更町及び十勝川温泉の活性化が期待されます。

7 新規就農

本別町

本別町が取り組む農業体験・新規就農の支援体制



【「本別町」ホームページより】

本別町で農業を始めたい人を応援～第三者継承の取組～

十勝地域は営農規模を拡大したい生産者が多く、新規参入が難しい地域ですが、本別町では営農指導対策協議会の中に「本別町農業担い手育成センター」を立ち上げ、新規就農の支援体制を整備し、経営移譲を希望する農業者と就農希望者のマッチングを行い、第三者継承による新規参入が実現しています。

「本別町農業担い手育成センター」では、就農希望者に対して、新規就農フェア（東京・大阪・札幌）へのブース出展による情報発信や町内の農業大学校で新規就農に関する授業の実施・農業体験を行い、農業体験者や農業研修生には、農業体験や研修に係る旅費、研修に伴う実習や家賃の補助、新規就農支援として農業経営開始時に補助を行っています。

また、農業体験と農業研修の受入れ農家には、営農と教育の両立に当たり、リスクと経済的負担が生じるため、体験・研修指導費や営農指導費を町予算で措置し、支援しています。

第三者継承の実現には、当事者間の相性に加え、マッチングのタイミングも大きな影響を与えるため、関係する機関との情報共有を適宜実施し、本別町で農業を始めたい人を応援しています。

8 耕畜連携

芽室町

飼料用作物を畑作物の輪作に組み入れ、粗飼料を安定的に供給 - 農事組合法人雄馬別（おまべつ）農場 -

芽室町雄馬別地区は、昭和45年に24戸の農家が所在していましたが、平成27年には5戸となり、地域の農家の維持に危機感を抱いていたことから、平成27年4月、作業の効率化と機械の集約化によるコスト削減、経営の合理化を目的として、畑作農家3戸、酪農家1戸により「農事組合法人雄馬別農場」を設立しました。

同法人は、畑作物を185ha、飼料作物を110ha作付け、乳用牛を340頭飼養し、畑作部門と酪農部門を独立させて、従業員を各部門に専任化することで、より専門的な知識を習得しながら作業を進めており、大型機械の導入、作業受託も行っています。

同法人の取組として、畑作物の連作障害回避と安定的に粗飼料を確保するため、輪作体系に飼料用作物を組み入れることで完全5年輪作（小麦→てんさい→ばれいしょ→豆類→デントコーン→小麦）を行っています。

今後は、酪農部門で粗飼料の投与を安定させ、牛にストレスを与えずに飼養することで乳質を向上させ、畑作・畜産それぞれの部門を継続することで専門性を活かし、作業工程のルーティン化と雇用の安定化を目指しています。



【大型機械による「ばれいしょ」の収穫作業】



【牧草の収穫風景】

市町村別の総土地面積、耕地面積、総人口等

市町村	総土地面積		耕地面積						総人口		世帯数		農業 経営体数	
	道内 シェア	道内 シェア	計	道内 シェア	田	道内 シェア	畑	道内 シェア	道内 シェア	道内 シェア	世帯数	道内 シェア	経営体数	道内 シェア
	km ²	%	ha	%	ha	%	ha	%	人	%	戸	%	経営体	%
十勝地域	10,832	13.0	254,500	22.3	761	0.3	253,800	27.6	325,141	6.4	171,590	6.1	5,266	15.1
帯広市	619	0.7	22,900	2.0	-	-	22,900	2.5	162,460	3.2	90,177	3.2	613	1.8
音更町	466	0.6	24,300	2.1	373	0.2	23,900	2.6	42,971	0.8	20,892	0.7	668	1.9
士幌町	259	0.3	15,900	1.4	-	-	15,900	1.7	5,829	0.1	2,756	0.1	348	1.0
上士幌町	694	0.8	11,200	1.0	-	-	11,200	1.2	4,784	0.1	2,566	0.1	159	0.5
鹿追町	403	0.5	12,200	1.1	-	-	12,200	1.3	5,061	0.1	2,476	0.1	221	0.6
新得町	1,064	1.3	6,530	0.6	0	0.0	6,530	0.7	5,531	0.1	3,278	0.1	108	0.3
清水町	402	0.5	14,900	1.3	-	-	14,900	1.6	8,907	0.2	4,664	0.2	335	1.0
芽室町	514	0.6	21,400	1.9	-	-	21,400	2.3	17,955	0.4	8,044	0.3	546	1.6
中札内村	293	0.4	7,110	0.6	-	-	7,110	0.8	3,886	0.1	1,941	0.1	144	0.4
更別村	177	0.2	11,500	1.0	-	-	11,500	1.3	3,129	0.1	1,369	0.0	221	0.6
大樹町	816	1.0	14,200	1.2	-	-	14,200	1.5	5,337	0.1	2,806	0.1	160	0.5
広尾町	596	0.7	6,190	0.5	-	-	6,190	0.7	6,009	0.1	3,162	0.1	92	0.3
幕別町	478	0.6	22,500	2.0	31	0.0	22,500	2.4	25,617	0.5	12,649	0.5	514	1.5
池田町	372	0.4	9,510	0.8	339	0.2	9,170	1.0	6,012	0.1	3,234	0.1	227	0.7
豊頃町	537	0.6	11,500	1.0	-	-	11,500	1.3	2,937	0.1	1,464	0.1	169	0.5
本別町	392	0.5	12,000	1.1	18	0.0	12,000	1.3	6,190	0.1	3,385	0.1	245	0.7
足寄町	1,408	1.7	13,400	1.2	-	-	13,400	1.5	6,172	0.1	3,300	0.1	220	0.6
陸別町	609	0.7	6,060	0.5	-	-	6,060	0.7	2,159	0.0	1,266	0.0	72	0.2
浦幌町	730	0.9	11,300	1.0	-	-	11,300	1.2	4,195	0.1	2,161	0.1	204	0.6

資料：国土交通省国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調（令和6年4月1日時点）」
 農林水産省統計部「農林水産関係市町村別統計（令和5年）」、「2020年農林業センサス」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和6年1月1日）」
 注：ラウンドの関係で、計と内訳は一致しない場合がある。

市町村別の農業産出額(推計)

市町村:1,000万円

市町村	農業産出額		耕 種										畜 産							
			小 計		米	麦 類	雑 穀	豆 類	い も 類	野 菜	工 芸 農作物	其 他 作物	小 計		肉用牛	乳用牛	豚	鶏	其 他 畜産物	
	道内 順位	道内 順位	道内 順位	道内 順位									道内 順位	道内 順位						道内 順位
十勝地域																				
帯広市	2,647	7	1,869	2	-	215	1	233	358	773	250	2	778	33	264	465	417	41	1	6
音更町	2,313	11	1,464	7	0	228	1	289	222	482	234	x	850	27	177	537	467	x	90	x
士幌町	2,763	5	701	20	-	75	0	114	226	138	146	2	2,062	5	951	1,074	936	0	-	37
上士幌町	2,091	12	219	82	-	20	0	39	74	34	44	9	1,872	6	525	1,267	1,084	x	-	x
鹿追町	1,971	13	388	46	-	50	1	64	102	91	73	7	1,583	9	311	1,206	1,068	43	2	22
新得町	1,079	40	116	104	0	16	8	19	19	38	12	4	963	24	448	514	451	0	0	1
清水町	2,806	3	419	39	-	82	2	91	79	71	89	6	2,387	3	707	1,537	1,388	65	63	15
芽室町	2,363	10	1,702	3	-	218	1	184	321	751	221	7	662	40	312	328	293	17	0	5
中札内村	1,181	33	478	34	-	34	0	39	129	175	100	2	703	36	6	388	337	x	136	x
更別村	1,028	46	699	21	-	65	0	130	227	117	153	3	329	69	52	272	233	-	2	4
大樹町	1,629	19	152	92	-	19	1	24	36	36	29	7	1,478	11	122	1,351	1,181	x	-	x
広尾町	734	64	39	132	-	1	-	1	4	3	11	x	695	37	61	631	545	-	-	3
幕別町	2,711	6	1,505	6	0	139	1	139	245	783	183	16	1,206	17	195	909	803	3	-	98
池田町	731	65	389	45	0	74	0	80	33	120	61	16	342	67	147	185	168	x	-	x
豊頃町	1,291	29	319	59	-	41	0	108	88	36	36	x	973	23	114	719	625	137	-	2
本別町	996	49	343	54	-	79	0	106	57	21	75	x	653	42	139	478	383	0	-	36
足寄町	965	53	157	91	-	27	0	30	21	36	27	x	808	30	220	560	487	-	-	27
陸別町	500	85	14	145	-	5	-	-	0	0	3	6	486	52	36	447	400	-	-	4
浦幌町	1,000	48	366	51	-	62	1	51	65	90	94	x	634	43	240	392	352	-	-	3

資料：農林水産省統計部「令和4年市町村別農業産出額（推計）」

注1：「市町村別農業産出額（推計）」は、都道府県別農業産出額を農林業センサス及び作物統計を用いて市町村別に按分して作成したものである。

注2：その他農作物は、果実、花き及びその他作物の計であり、秘匿措置が講じられている品目を除いて単純に合算したものである。